

年 頭 所 感



規格建築部会長

須藤 則行

コマツハウス株式会社 社長

2016年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
会員の皆様には平素より規格建築部会の活動に多大の御支援、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は日米など12ヶ国が環太平洋経済連携協定(TPP)妥結を大筋合意し、域内での関税撤廃など各国が市場を開放し、太平洋を囲む巨大経済圏が生まれる道筋が出来ました。また政府は新たな「3本の矢」を発表し「アベノミクスは第2ステージに入る」と宣言しました。

一方、昨年も日本列島は多くの災害に襲われ、火山の噴火、台風による大雨、記録的な暴風等で、災害救助法が適用された自治体は延べ5県に及びました。

被災者の皆様には心よりお見舞申し上げます。

5月に鹿児島県口永良部島(新岳)噴火により、全島民が避難することになりましたが、鹿児島県と応急仮設住宅について早期に協議を開始し、鹿児島県の要請に基づき屋久島町に仮設住宅を建設致しました。また9月には沖縄県与那国町を台風21号が襲い、記録的な暴風雨の影響で全戸停電が続くなど、住民生活がマヒするという甚大な被害が発生しました。当部会では沖縄県の仮設住宅建設要請に基づき、与那国町に応急仮設住宅を建設し、要請通りに引き渡しいたしました。今後も災害発生時には被災された方々に一刻でも早く応急仮設住宅を提供できるよう取り組んでまいります。

現在、当部会では岩手県、宮城県、福島県の東日本を中心に、7都県に応急仮設住宅を建設し引き渡ししております。東北の被災地では、道路や施設、交通などの面のインフラ復旧は進み、住宅再建の工事も進んでおります。いよいよ、仮設に住む被災者の方々の移行が始まりましたが、住宅再建の復興はまだ道半ばというのが実情です。あらためて、避難を余儀なくされている皆様方のご健康を切に願うとともに、被災地の1日も早い復興を祈念いたします。

建設を担当した会員におかれましては、今後共、仮設住宅設置期間中の、一斉点検、修繕工事・補強工事等の維持管理を適切に行うとともに、応急仮設住宅の解体においては、環境保全に十分に配慮し、建設廃棄物を最小限に抑えるとともに、適切な廃棄処分を行う等について、建設に際した以上の御協力をお願い申し上げます。

近年の災害は地震災害に加えて火山の噴火や天候不順による風水害が増えてきていますが、各都道府県では諸々の防災に関する訓練などを通じて、災害発生時に適切な対応を図れるよう努めておられます。

当部会では毎年都道府県が主催する防災訓練及び机上訓練に参加し、災害発生時に迅速に応急仮設住宅建設の初動体制を確立できるよう協力するとともに、都道府県を訪問し、応急仮設住宅の建設に関す

る御意見を伺う等、災害対策業務を円滑に推進するための活動も実施してまいります。

また災害対策業務の教訓を踏まえ、被災地の気候や風土に合った応急仮設住宅の仕様等の調査・研究等を進め、今後の災害対策に結びつく活動をしてまいります。

本年も会員の皆様の御協力・御支援を賜り応急仮設住宅建設という分野で社会に貢献する使命を果たしてゆく所存です。最後に皆様方の一層のご発展とご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。